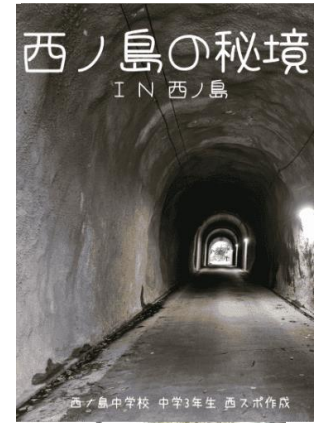
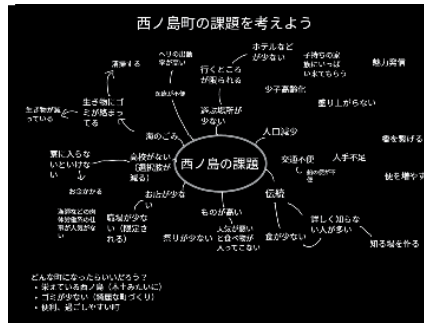
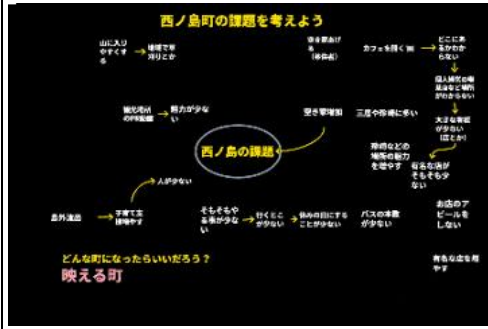


ふるさと教育 取組事例

学校名	西ノ島町立西ノ島中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習の時間	西ノ島の現状を学び、未来に向けて行動しよう	西ノ島町役場、地域の方 地域の事業所、地域のイベント 隠岐島前高校の生徒
ねらい	西ノ島の地域課題解決のために、地域の方と協働しながら課題解決のための実践することにより、西ノ島の良さを再認識すると共に将来の生き方を幅広く考える。		
<p>1 取組の概要</p> <p>1年次は、ふるさとについて知る活動を行い西ノ島の強みや課題について調べ学習を通して学んだ。2年次は、職場体験や修学旅行を通じて、事業所の中から見た西ノ島の良さや課題、他の地域と比べることによる西ノ島の良さや課題などを学んだ。3年次は、1, 2年次の学習を基に自分たちにできる地域に貢献できる取り組みを考え、西ノ島の事業所や地域の人と協力しながら、地域の活性化につながる実践をすることでふるさと西ノ島について学習した。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方がどのような思いで西ノ島に関わっているのかを知るために、企画の実践をする際に地域のイベントや地域の食材などに注目をさせた。それにより、イベント運営者や地域の農家さんなど裏方で支えている人たちとの打ち合わせやインタビューなどを行った。 ・自分たちも地域の一員であることを意識するために、誰に発表するか目的意識をもって発表準備や発表を行った。感謝の気持ちを高めるために、発表会にお世話になった方々を招待した。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが考えたイベント等の企画運営を進めていくために、地域の方や事業所の方にインタビューや打ち合わせを行い、その結果をグループ内で整理することで、思考力を高められるよう取り組んでいった。 ・取組の成果発表を聞き手(地域の方やお世話になった事業所の方、役場の方、保護者)を意識して、より分かりやすく伝えられるよう、客観的な視点をもってわかりやすい表現等を考え発表の準備を行った。 <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは、イベント企画やカフェを開くなど、その場が楽しければというような感じであった。しかし、準備をしていく中で、事業所の方や地域の方との打ち合わせやインタビューを通して、地域を盛り上げたいという西ノ島の人の思いを知り、持続可能な取り組みの視点をもって学習に取り組むようになっていった。また、これらの活動を通して、地域の人々の目線で物事を考えていく、客観的な視点を持つことができるようになっていった。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画運営を進めていく中で、仮説→情報収集→実践→振り返りという過程を踏むことで思考力を高めていくことができた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題としては複数のグループで取り組んでいく中で、事業所などとの調整や企画の準備・運営等において担任・副担任だけでは人手が足りない現状がある。学校教育コーディネーターや社会教育主事など様々な方のサポートが必要である。 ・今後の展望については3年間の総合的な学習の時間の総まとめとして、引き続き自分たちが考えた地域活性の取組の実践を継続して行っていきたい。生徒自身も、西ノ島を支えている人と協働することで地域の思いを知り、ふるさと西ノ島の良さを再認識できると考えている。 			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)



* 取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
 (このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)